

# のうきよう ちがしづ



'96

**2** No.254

°釧路33°  
そ69-51

# のうきよう ちがべつ

白一面の銀世界に  
ホッカリと氷らない池水。  
厳寒の中なのに白鳥たちは  
楽しそうにくつろいでいる。



## もくじ

- 3 ———— <未来を担う若者>  
**自分の目標に向かって**  
南依橋 多田栄治さん(24歳)
- 4 ———— **一坪ショップ今年も開店**
- 5 ———— **町の発展に功績**  
第18回中標津町表彰式
- 6~7 ———— <営農技術>  
**フリーストール牛舎の図面を引く前に**
- 8 ———— <輝く女性>  
**活動を通して交流を図る**  
依橋高台 丹羽トシ子さん
- 9 ———— <組合長日誌>  
**ヨーロッパ農業を視察して**
- 10~11 — **平成8年度営農計画総集計**
- 12 ———— **ミルクタイム**
- 13 ———— **第3期生乳安定生産対策決定**
- 14~15 — **農協の財務状況**
- 16 ———— <理事会の経過>  
**第10回理事会**
- 17 ———— <暮らしの知恵袋>  
**受けていますか? 健康診断**
- 18~19 — **今月のフォトアルバム**
- 20 ———— **1月の組合日誌**

# あす 未来を 担う若者

南俵橋 多田栄治さん(24歳)



現状での改善に取り組む栄治さん

小学校の作文に「将来は父の後を継ぎ、酪農をやっていくんだ」と書いていたという多田栄治さん。幼い頃から酪農への思いをよせて、その実現に向け現在奮闘中です。

多田牧場は南俵橋地区に位置し、乳牛七十三頭(内搾乳牛三十二頭)を飼養し、年間約二百頭の牛乳を出荷する酪農専業農家で、俊夫さ

## 自分の将来目標に向かって

ん(五十九歳)が経営主。

栄治さんは、四人兄弟(男二人、女二人)の長男で、地元俵橋小学校から中俵津広陵中学校へと通いました。高校進学の際には父・俊夫さんに「ぼくは父さんの後を継いで酪農をやるから、農業高校に行かせてください」とお願いをし、中俵津農業高校に進学したと言い、農業を志す決意はこの頃すでに固まっていたようです。

高校卒業後は酪農の実践的基礎を学ぶ、訓子府のホクレン畜産実験研修牧場で、一年間の研修を終え家業に就いています。

将来の目標は「フリーストール・

パーラー方式の体型を考えたい」と話し、その目標に向かって現状での改善策に取り組んでいる。

改善の大きなポイントとするのは個体乳量のアップで、二三年後の目標として、平均七千八百リットルを計画している。この計画達成には、繁殖管理、餌給与、良質な粗飼料作りの基本となる土づくりな

ど、改善する課題がたくさん

あるという

が、自分の

選択した農

業、将来目標

とする酪農経営達

成のためには、最大の努力をして

行きたいと意欲的です。

また栄治さんは、酪農ヘルパー

業務の臨時青年ヘルパーとしても

活躍中で、冠婚葬祭、怪我などを

した時の緊急対応ヘルパーに町内

各地区へ出動しています。最近

は緊急対応のほか、研修などでヘル

パーを依頼される事も多く、出動

ヘルパー  
で利点を  
吸収



回数も増え大変だが、その分色々な農家へ行き作業内容や技術などを吸収する事もたくさんあり、勉強

「農業情勢の厳しい中ではあるが、自分の将来目標があるかぎり、それに向かって頑張っていきたい」と話す栄治さんです。

と話す栄治さんです。

一月二十三日(火)、農協大会議室において、婦人部新年恒例会が開催されました。

今年を含めて三度目となるこの「手づくり新年会」も、部員の皆さん、またJA職員の間でも楽し

みにされている方が増え、準備にも力が入りました。

新年会前日から役員は、手づくりコンニャクや、いもだんごのあんみつ作りに大忙し。また、一坪ショップに参加、出店される方々も準備もおわ

れていたようでした。

五十七人の部員の参加で開会しました。横田部長の挨拶の後、三友組合長、井芹普及センター所長に祝辞をいただき、青年部・高橋副部長の首頭で乾杯、会食に入りました。テーブルには、役員が飾りつけた花や、華道教室で習った生け花なども展示され、会場は華やかな雰囲気。

# 一坪ショップ 今年も開店!

婦人部  
新年恒例会

一坪ショップは、手づくりチーズ、小物、お菓子、陶器など十一店が並び、それぞれお目当ての店へ直行する部員の姿もみられました。年に一度しか買い求められないだけに、楽しみに参加された方々も満足そうでした。

また、一坪ショップに続き、景品盛りだくさんのゲーム大会も大変盛り上がり、新年幕あけの行事は、大盛況となりました。



一坪ショップも新しい顔ぶれが増え、大変盛り上がりました



「輪ゴムリレー」真剣です



うまく、つみ上げられるかな…



約60人が集まった大会議室

# 48個人、4団体が表彰される

第十八回中標津町表彰式が一月十八日、町役場会議室で開催され社会貢献賞や善行賞、中小企業優良従業員など四十八個人、四団体が表彰され、J A中標津からは、産業貢献賞に佐野静二氏、産業振興奨励賞・川村清身氏、教育文化奨励賞・安江八五郎氏が表彰されました。



一人ひとりに賞状と記念品が手渡されました

## 町の発展に功績

第18回  
中標津町表彰式



表彰式に出席された皆さん

表彰者のうち中標津町農協関係者は次の通りです。

▽産業貢献賞 佐野静二氏

昭和三十五年の中標津町農協に奉職。生活課長、畜産販売課長、生産・営農部長を経て平成五年に参事に就任。組合員から生産される乳雄仔牛を育成、肥育する施設の増設、地場産品の消費拡大を目指す乳製品工場を建設し、産品開発に力を入れ、また黒毛和種の導入など組合員の生産指導に尽力し、地域農業への発展に貢献した。

▽産業振興奨励賞 川村清身氏

昭和三十八年に牛一頭、馬一頭を有して入植。以来、酪農一筋に歩み続け、早くから乳牛の個体改良に取り組み優秀牛を育成。全日本ホルスタイン共進会で内閣総理大臣賞を受賞するなど、乳牛の資質の向上に大きく貢献。

▽教育文化奨励賞 安江八五郎氏

この表彰は、町の経済、社会、文化などの発展に顕著な功績のあった個人及び団体、または他の模範となる善行のあった人の業績をたたえる賞で、中標津町が主催するものです。

式には受賞者や来賓など約百人が出席、新出實町長が「町の発展に、それぞれの分野で活躍された皆さまのご苦勞に感謝申し上げます」とあいさつし、一人ひとりに賞状と記念品が手渡されました。

日本ゲートボール連合会の三級をいち早く取得し、昭和六十一年の中標津ゲートボール協会の設立に尽力。設立と同時に副会長、平成四年には会長に就任するなど同協会の要職を歴任し、新人や後継者の育成にも力を注いだ。

# フリーストール牛舎の図面を引く前に

乳牛の増頭で労働力も頭打ちとなり、施設の新築を希望する声も聞かれるようになりました。

しかし、フリーストールシステムなどの導入には多額の投資を伴い、また、建築してからの改造は困難で、失敗はできないという面があり、プランを十分に練る必要があります。

実際には図面を引く前に、投資をすべきかどうかからはじまる、検討及びプランを、長い時間をかけて行なうこととなります。紙に書いているうちの失敗は何度でも許されるので、この時期の検討は最も重要な部分となります。

## ○現状のシステムの検討

日常の乳牛管理を見直すと、予想以上に生産がアップしたり、作業が楽になるといったケースが見

られます。

現状のシステムでやり残している事がないか、投資をあまりせずにやっていく方法はないかなどを検討を行なうてから、大きなシステム変更の必要性を考えていく事が望ましいでしょう。

## ○フリーストールの特性

本質をよく理解してポイントを外さないようにしないと、フリーストールを採用しても、思った程の効果がでないという結果をまねくこととなります。

ただ仕事に楽になるといようなイメージで、安易に導入せずにフリーストールの利点、不利な点を把握した上での判断が必要となります。

特に観察能力を強化しないと、個体管理主体から群管理へ移行す

る事になりますので、疾病予防、産乳量の増大などの点で、不利益をこうむりかねません。

床面積が多くなるので、湿度が高くなり易く、スタンション以上に換気能力に配慮する、群行動になるので、闘争や発情行動による事故の発生、食い負けなどの確率が高くなるなど、今まで以上に気をつけねばならない事項があるので、どのように対応していくかを、プランに盛り込む必要があります。

## ○フリーストールの計画手順

個々で条件や管理思想が異なるので、それぞれでプランは異なります。それらが決定してから、図面を引く事になります。

投資限界や群分けの方法、糞尿処理のやり方などによって、施設の内容も変わってきます。

管理思想を図面に盛り込むので他の図面をそのまま利用する事にはなりません。一見同じような造りの牛舎でも、管理目的の違いで全く異なった機能を持つということもあります。

これは図面を書く段階になっても同じ事で、牛体のサイズの違いで、牛床の寸法も変わってくるな

## 「多目的農村広場」実現に強い要望!

食肉用としての取り組みを

中標津地区馬事振興同志会総会

中標津地区馬事振興同志会（横田好一会長・会員二十九人）の第八回通常総会が一月二十五日、マルエー温泉旅館で開催されました。

前年度事業報告のあと、平成八年度事業について活発な意見が出され、○種馬共進会の開催と参加及び協力○馬事振興に関する研修及び視察○馬事振興に関する各種活動と協力などについて計画が立てられました。

特に、町へ要請し懸案の事項となっている、家畜共進会場などを併設した「多目的農

ど、単純によその寸法をまねる事はできません。

それぞれの寸法にも意味がありそれを理解した上で、サイズを決定する事になります。

### フリーストールの長所

- 労働生産性の向上
- 乳質と搾乳衛生の向上
- 牛体の清潔さを保ちやすい
- 発情発見の効率の向上
- 経営規模の拡大に柔軟に対応できる。

● グループ給餌、グループ管理が容易

● 異なった作業を同時に進行できる

### フリーストールの短所

- 湿気の発生が多い
  - 闘争や発情行動によるけがの可能性がある
  - 消化障害の発見に異なった観点が必要
  - 乾物摂取量が不足すると、生産性が低下し、負け牛が発生する
  - 群管理が煩雑になる可能性がある
- フリーストールの計画手順
- 現在の経営、技術の問題点を分析する

● フリーストール移行の目的を明確にする

● フリーストールへの移行時期を決める

● 牛群の年齢構成の調整計画をたてる

● 糞尿処理の方式と牧草収穫体系を決める

● 労働力の配分計画をたてる

● 一日の作業手順を全て書き出してみて、毎日の作業計画をたてる

● 定期的に発生する管理作業、突発的に発生する作業を年間通して書き出しその作業をどう行うか図上演習する。

● 群分けの方法と給餌プログラムを決める

● 当面の牛群規模と拡大プランの可能性を決める

● 投資限度と予算不足の時の優先順位を検討する

● フリーストール移行にするかどうか再考すべき人

● 搾乳、給餌、糞出しの三大作業は毎日行なうが、ただ早く終わらせたいと考え、その作業以外はあまり牛舎にいない人

● フリーストールをやると作業が

楽だとか、現在の手法の延長上で単なる規模拡大をしたいと考えている人

● 労働する以外に、経営及び管理について考える習慣の無い人

● 記録をつける習慣の無い人

● 現状の問題点の把握が不十分な人

● 普段から牛をどんだり蹴ったりして、近づくとき牛をおどかさせる人

● フリーストール移行の可能性がある人

● 労働と経営の区別がつく人

● 科学的根拠に根ざして物事を判断できる人

● 三大労働以外の管理作業(繁殖、削蹄、ボディコンディションの測定、記録の分析など)を定期的にこなう人

● 牛を観察することの重要性が理解できる人

● 牛と自分との社会的関係が安定している人

● 新しい情報に対してオープンだが、インチキ情報を見破る見識の高い人

● 乳牛のストレス管理の本質が理解できる人

村広場」の早期実現に向け、強い要望が出されました。

また、食肉用としての馬の肥育、馬肉の消費についてもあらたな取り組みとすることを確認し、総会を終えました。終了後は新年懇親会が開催され、馬談義などに花を咲かせ親睦を深めました。



事業の取り組みにあたりあいさつする横田会長

⑤  
ファイト&トライ

## 輝く女性

俵橋高台  
丹羽トシ子さん  
(48歳)

昭和22年11月2日、標茶町  
虹別で生まれる。

虹別中学校卒業後、家業で  
ある酪農業を手伝う、23歳で  
結婚。現在、いも、ビート、  
乳牛55頭を飼養する兼業農家。

祖父、祖母、次男とご主人  
の5人家族。



# 活動を通して交流を図る

俵橋高台支部の支部長として、  
また、婦人部役員としても活躍中  
の丹羽さん。

「大変だけど、色々な所へ出てみ  
る事は大事」と言います。

部落の仲間で、せっけん作りや  
野菜づくりなど活発に行なってい  
るとのこと。また、勉強ばかりで  
なく、ゆつくりお茶を飲みながら  
話す場をつくったり、一泊で温泉  
に行くなど、楽しいコミュニケー  
ションもとっているそうです。

「同じ部落といっても、それぞれ  
仕事もあるし、なかなか行き来で  
きない。だから婦人部や部落での  
集まりは、良いきっかけになる」  
と活動を通して、交流を図ってい  
る様子がうかがえました。

「役員がいやだと言っても、誰か  
がやらなくちゃ成り立たないでし  
よ。自分も楽しむために、次に続  
けていかなくちゃ」と前向きです。

仕事の面では、ご主人の賢一さ  
んと、息子さんの三人で頑張る毎  
日。いも、ビート、牛と年間通し  
て忙しいが、笑顔で乗りきるトシ  
子さん。

「後は、息子（隆司さん）にお嫁

さんが早く見つかればいい」と、  
後継者への夢もふくらみます。  
これからは、少しずつ経営にゆ  
とりを持っていきたいと家族で考  
えているようです。

仕事に余裕ができたなら、旅行を  
したり花だんをつくったり、色々  
な事にチャレンジしていきたいと  
話すトシ子さん。

スポーツなど体を動かす事が好  
きで、ミニバレーなどもやりたい  
とはりきる丹羽さんです。



いつも笑顔で頑張るトシ子さんです



# ヨーロッパ農業を視察して④

凍の強い日々が続いております。雪も多く、何年振りかの冬らしい冬となりました。

雪が降り、寒さも厳しく、農業に多少の支障が生じますが、今年には夏らしい夏が来る様な予感を感じ、何故か心が浮いてくる様です。冬至を経て近頃では日中の太陽に力が甦ってきました。

子年に不作なしと古来いわれておりますが、その様な期待が叶いそうな今日この頃です。

## スイス

ミュンヘンからチューリッヒ経由でスイスに入りました。ドイツ南部の農村は山岳地帯に展開されていましたが、スイスでは山に囲まれているという感じでした。

タイエン地方にあるトーマス・ミッシェル氏の農場を見学しました。当農場は標高五百六十メートルの台地であり、周囲は一千五百メートル級の山々が切り立っており、土地五十畝、草地二十八畝、森林十二畝、積雪は十〜二十センチと少ないが気温は

冬はマイナス一〇度〜マイナス二〇度と低く、冬の三ヶ月は山々に遮られ全く太陽が当りません。乳牛は五十頭で搾乳牛十七頭、育成は夏期は山（一千五百〜二千メートル）に放牧、生産乳量は八十五リットル、平均

● 今月のたより……

# 組合長日誌

代表理事 組合長

三友 盛行

五千五百リットルでシンメンタール種です。乳価は一ダネ九十円から値下がりして、現在は八十七円で一九九八年までに五十七円までに下げる方針との事でした。



視察先・トーマス・ミッシェル氏の住宅

待となり、牛舎全体が補助の対象外となります。

牧草地は刈り取りが年四回、その後二回放牧、草地更新という考え方は無く永年利用であり、化成肥料は政府の指導で使用せず、草中心でコーンサイレージと少量の穀物利用体系です。

国の補助金は一般の物価に合せていきましたが、消費者への配慮とEU諸国からの批判の中で、農家だけへの援助は年々減少しています。

スイスは国際金融、公的機関、精密機械、観光立国であり、国際化の中で農業への展望も見えず、今後の展開を模索していました。

観光としての山岳景観は誠に美しく、手入れが行き届いていました。しかし、農村としての活気、農民の息づかいを感じる事が出来ませんでした。

日本の水田が、山、耕して天に至るといわれた様に、スイスも山、草地にして天に至っています。柵田の荒廃化の様に、スイスの山岳酪農も同じ道を辿ってゆくのでしょうか。

# 集計

営農計画は、その年の組合員農協事業の基本書です。

単位：千円

	収		入	
	7年計画	7年実績	8年計画	過不足
生乳	6,312,076	5,977,471	6,330,384	352,913
補給金	557,306	616,520	576,414	△ 40,106
小計	6,869,382	6,593,991	6,906,798	312,807
乳用牛	486,825	581,935	600,970	19,035
肉用牛	296,704	299,370	252,343	△ 47,027
その他畜産物	5,958	3,561	4,700	1,139
個体販売計	789,487	884,866	858,013	△ 26,853
家畜共済金	139,338	249,940	132,970	△ 116,970
畜産物計	7,798,207	7,728,797	7,897,781	168,984
馬鈴薯	499,964	543,942	478,425	△ 65,517
てん菜	148,870	189,324	148,006	△ 41,318
その他農産物	15,140	12,502	12,470	△ 32
農産収入計	663,974	745,768	638,901	△ 106,867
農業雑収入	264,369	361,154	214,585	△ 146,569
農業収入計	8,726,550	8,835,719	8,751,267	△ 84,452
農外収入	39,140	88,760	36,822	△ 51,938
資金借入	6,547	119,207	87,721	△ 31,486
資金受入	193,431	285,894	210,309	△ 75,585
その他				
合計	8,965,668	9,329,580	9,086,119	△ 243,461

	総収入合計
7年計画	8,965,668 <sup>千円</sup>
8年計画	9,086,119 <sup>千円</sup>

	総支出
	8,956,157 <sup>千円</sup>
	9,106,649 <sup>千円</sup>

	収支・過不足
	9,511 <sup>千円</sup>
	△20,530 <sup>千円</sup>

	平成7年	平成8年
乳量	89,385 <sup>t</sup>	90,626 <sup>t</sup>
てん菜	205.4 <sup>ha</sup>	201.2 <sup>ha</sup>
馬鈴薯	76.7 <sup>ha</sup>	76.9 <sup>ha</sup>
澱原	737.9 <sup>ha</sup>	719.9 <sup>ha</sup>
乳用牛	3,482 <sup>頭</sup>	3,420 <sup>頭</sup>
肉用牛	5,977 <sup>頭</sup>	6,485 <sup>頭</sup>

	農業収入
7年計画	8,726,550 <sup>千円</sup>
8年計画	8,751,267 <sup>千円</sup>
7年実績	8,835,719 <sup>千円</sup>

	農業経営費
	5,541,960 <sup>千円</sup>
	5,510,390 <sup>千円</sup>
	5,612,846 <sup>千円</sup>

	農業所得	所得率
	3,184,590 <sup>千円</sup>	36.5%
	3,240,877 <sup>千円</sup>	37.0%
	3,222,873 <sup>千円</sup>	36.5%

平成8年

# 営農計画総

	支		出	
	7年計画	7年実績	8年計画	過不足
労賃	88,229	89,783	103,674	13,891
肥料	589,574	584,166	547,246	△ 36,920
生産資材	374,262	387,866	369,476	△ 18,390
水道光熱	355,999	334,885	341,285	6,400
飼料	1,832,746	1,744,723	1,804,701	59,978
養畜費	310,813	333,564	325,133	△ 8,431
素畜費	70,018	66,726	75,704	8,978
農業共済	342,110	332,885	344,137	11,252
賃料料金	519,075	555,231	526,955	△ 28,276
修理費	281,509	393,064	310,372	△ 82,692
租税諸負担	362,969	363,497	362,002	△ 1,495
支払利息	296,432	293,911	278,400	△ 15,511
その他経営費	118,224	132,545	121,305	△ 11,240
農業支出計	5,541,960	5,612,846	5,510,390	△ 102,456
家計費	1,546,459	1,701,814	1,605,030	△ 96,784
経営費+家計費	7,088,419	7,314,660	7,115,420	△ 199,240
資金返済	763,632	879,843	826,705	△ 53,138
貯金共済	924,009	953,553	950,850	△ 2,703
農業機械	82,976	193,177	102,013	△ 91,164
その他	97,121	241,001	111,661	△ 129,340
合計	8,956,157	9,582,234	9,106,649	△ 475,585

年度	科目	総所有地	改良草地	永年草地	畑地	山林・原野・その他
7年		15,948.59 <sup>ha</sup>	9,480.16 <sup>ha</sup>	2,760.76 <sup>ha</sup>	1,206.1 <sup>ha</sup>	2,501.57 <sup>ha</sup>
8年		15,701.93 <sup>ha</sup>	9,145.41 <sup>ha</sup>	2,943.81 <sup>ha</sup>	1,146.2 <sup>ha</sup>	2,466.51 <sup>ha</sup>

年度	科目	乳牛総頭数	12ヶ月以下	13ヶ月～24ヶ月	25ヶ月以上
7年		22,635 <sup>頭</sup>	4,164 <sup>頭</sup>	4,848 <sup>頭</sup>	13,623 <sup>頭</sup>
8年		23,721 <sup>頭</sup>	4,554 <sup>頭</sup>	5,364 <sup>頭</sup>	13,803 <sup>頭</sup>

MILK

# みるく。たいむ

TIME

## 酪農話しに

### 花が咲く!

一月十六日に管理課の職員五人が、昨年十一月に親規入植（新生地区）しました、尾崎広太郎ご夫妻の牧場へ訪問する事になり、夜の搾乳が終る時間に向く事としました。悪天候の中、一瞬の間、視界ゼロと言う場面もありましたが、車を走らせ無事、尾崎さん宅へ到着、出迎えてくれたご夫婦とダックスフンド（犬）と、うさぎさんも迎えてくれました。

このたびの訪問は、日頃組合員との接点の少ない部署である事から、尾崎さんの酪農の夢を知りたく、二人の話しを聞く事になったものです。都会育ちの尾崎さんは、酪農を夢見て北海道へ渡り、酪農



将来の話しをしてくれた尾崎さん夫妻

ヘルパーの仕事しながら、チャンスを待っていたそうです。また、奥さんは、酪農をするなら北海道か九州と決めていたそうですが、尾崎さんとの出会いで、その夢が早く実現し、二人で尾崎牧場をこれから建設していきたいと、意気の合った夢はふくらんでいる様でした。牛舎の一角に住んでいるため、話しの途中に牛の鳴き声が聞こえ、牛と共に歩んでいる事も実感。職員の胸の内はどの様に感じただしょうか。

## 勤続20年にあたり

金融共済課金融係  
石橋照雄

中標津町農協に職員として勤めてから二十年がたちました。この二十年間、組合員の皆様をはじめ先輩の方々のご指導をいただき、無事勤めることができました。厚くお礼申し上げます。今後もいまままで以上に、農協職員として努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

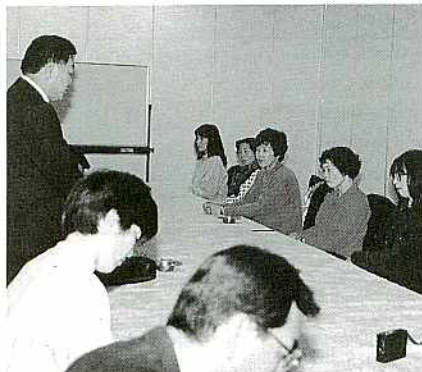


## PR用パンフレットの作成も

### 酪農ヘルパーモニター会議

酪農ヘルパー業務に対する意見や要望を話し合う、ファミ・エイモニター会議が、一月十六日、寿宴を会場に開催されました。このモニターはヘルパーを実際に利用する中標津、計根別、上春別農協の組合員の婦人の方で、ヘルパーの稼働を充実させて行くもの。

会議では、怪我、病気など長期利用の特別料金の設定や、トラクター操作などオペレーター要員の育成、利用組合員増に向けてのPR用パンフレットの作成などさまざまな意見、要望が出されました。



意見、要望が話されたモニター会議

北海道農協酪農対策本部と、ホクレン生乳受託販売委員会の合同会議は一月十六日、今後三年間(平成八～十年)に亘る北海道生乳生産の枠組み(第三期生乳安定生産対策)を決定し、二月に説明資料などを全組合員に配布するなど、考え方を周知することとしました。二期対策ではUR合意により、

# 第三期生乳

## 安定生産対策決定

減産のない安定的生産を目指す

酪農の国際化という新たな局面を迎え、北海道酪農の体質強化を主眼に、年率三割増(需給状況により十一割)の目標伸び率を設定し、安定的な生産を確保することを基本にしていますが、この実現を図るため、生産者が一円を拠出し、次の事業を実施することとしました。

- (一)牛乳乳製品需要拡大対策
- (二)生乳生産枠確保対策

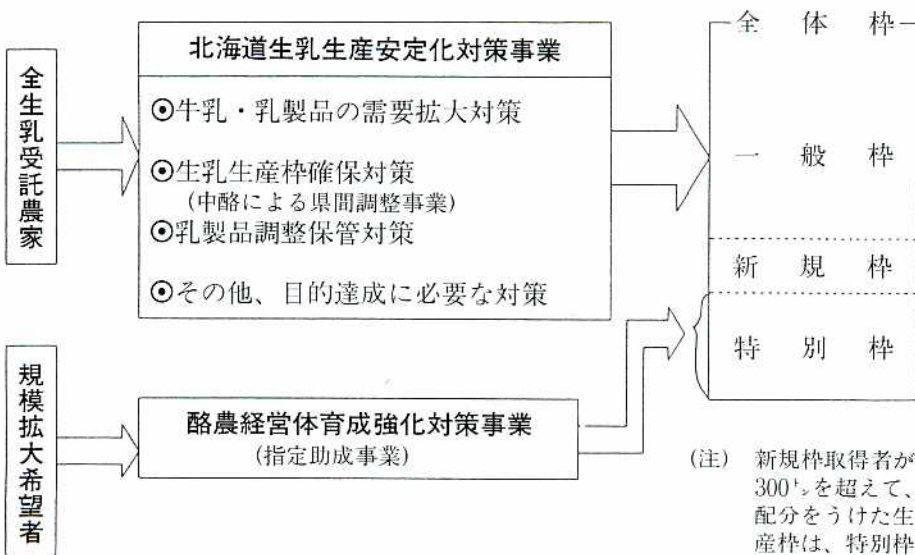
(三)乳製品調整保管対策  
(四)その他目的達成に必要な対策  
ただし、拠出金の精算は毎月共計控除し、単年度ごとの決算により残余金は返戻されます。  
また三期対策では、道内の地区別目標数量の設定を前年度計画四割、前年度実績六割を加味した実績重視型で配分し、生産意欲のある

る地区へ傾斜配分出来るよう配慮しています。

特別枠・新規枠については、従来中核的担い手育成の観点から無償扱いとなっていました。今回、新規枠は全道の平均規模である三百リまでを無償、これ以上を特別枠として有償としました。さらに規模拡大者に対する特別枠は、個人三十五リ、百五十リ。法人百、五百リ、ともに国が実施する酪農

経営体育成強化対策事業にのり、一定(十円/リ)の負担を求めることとなりました。  
しかし、生産枠に有償の道が開かれたことにより、個人別生乳生産枠の設定とこの運用が課題となりますが、この扱いについては、平成八年度に検討機関を設け、早急に具体的検討を進めることとなっています。

北海道生乳生産安定化対策事業の取組みフローチャート



# 農協の

# 財務状況

平成七年度十二月末における、財務の状況についてお知らせいたします。

## 貸付金

前年同期より貸付金全体では、一億七千四百万円増加になりました。貸付金別では、災害復旧資金の貸付、農家負担軽減支援特別資金などの貸付受託資金では、四

億七千五百万円の貸付本年度償還額を差し引き、約五千万円の増加になりました。

## クミカン

預かり残高については、前年同期より若干減少し、貸越残高は、前年とほぼ同額ですが、農家負担軽減支援特別資金の対応をしております、実質的な内容では前年より悪

化の状況にあります。原因は乳代、補給金の減少によるものと思います。

## 貯金

前年度同期より一億七千四百万円増加になりましたが、伸び率では前年を大きく下回りました。低金利時代を反映したものと思いますが、今後共宜しくご協力をお願い致します。

## 自己資本

出資金、積立金それぞれ増加しており、前年より四千三百万円の増加となっております。

## 販売事業

共計澱粉、個体販売では前年を上回っておりますが、乳代、補給

金の減少により前年同期を三千七百万円下回る結果になりました。

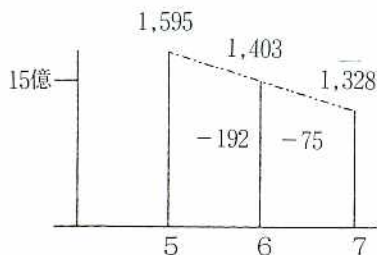
## 購買事業

六年度十二月末では、大幅な減少になりましたが、七年度に入り若干回復の兆しがあり、営業資材で三千四百万円、生活店舗で三千三百万円が前年同期より増加しております。皆様のご協力にお礼申し上げます。

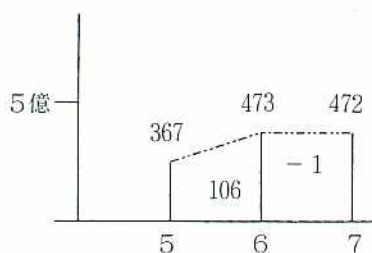
## 業務全体では前年同期より若干

好転しております。先行き不透明な農業情勢ですが、役員一体となって努力をしておりますので、組合員皆様のおご理解とご協力をお願い致します。

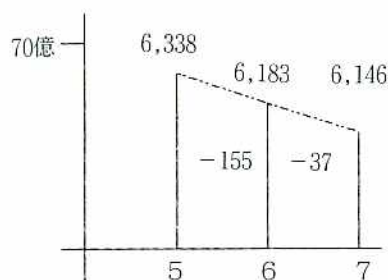
受託資金を除く借入金



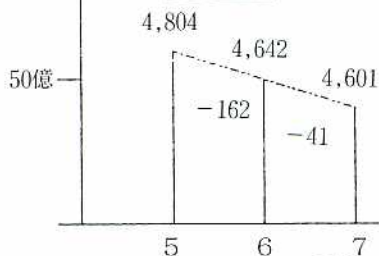
組 勘 貸 越 残



販売取扱高(補給金含む)

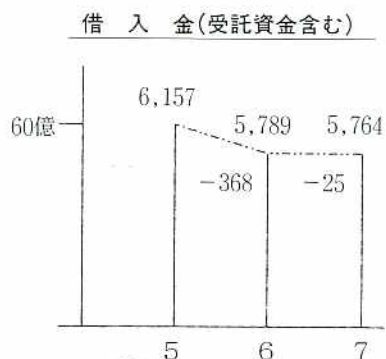
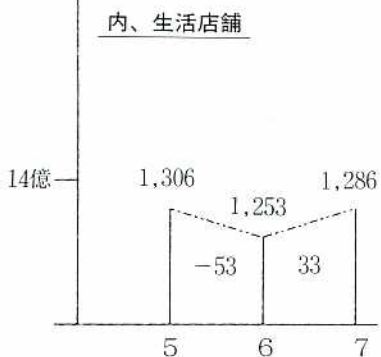
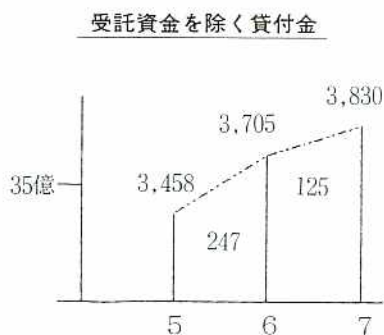
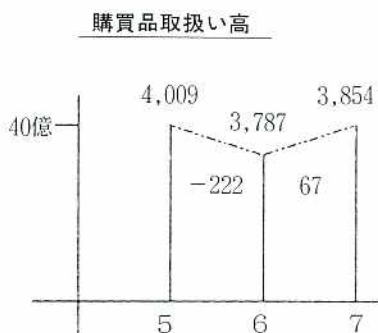
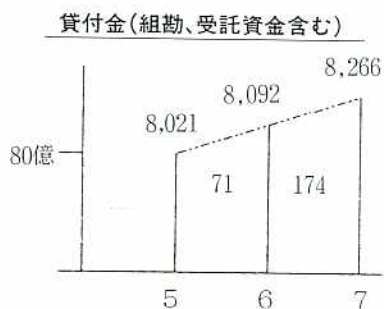
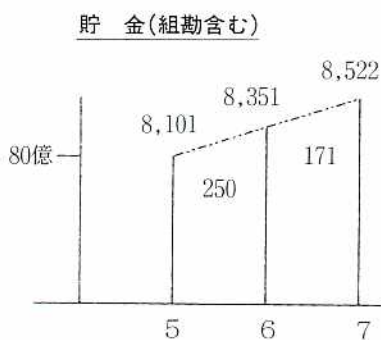
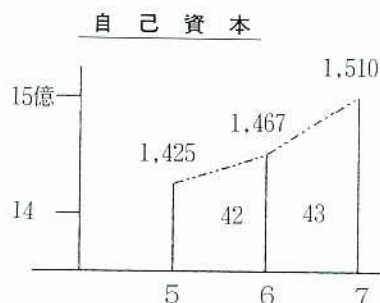
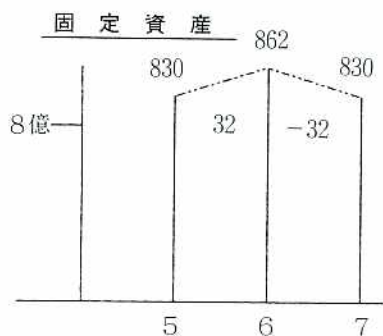


内 牛 乳



# 事業概況

各年度12月末現在(単位百万円)



# 理事会

## の経過

### 第十回理事会

開催日時 平成八年一月三十日  
開催場所 中標津町農協中会議室

#### 〈議案〉

- 一、平成八年度営農計画の認定及び組助供給について、全件認定を決定されました。
- 二、平成八年度営農各制度資金の貸付について、負債整理資金二十七件、基盤整備資金四件、延払

- (ホクレン)四件、自動車ローン一件、乳牛購入資金一件、住宅公庫資金一件、農機具ローン二件の貸付全件を決定されました。
- 三、定例自治監査報告について報告を受けました。
- 四、農業信用基金協会の出資増口について、二十万円と七十五万円の二口の増口を決定されました。
- 五、農業開発公社の出資増口について、三年間で二百万円の増口を決定され、年度ごとには次の通りです。

平成七年度	六十万円
平成八年度	七十万円
平成九年度	七十万円

- 六、職制規程の一部改定について原案通り決定されました。

#### 〈協議事項〉

- 一、平成七年度十二月末財務状況について
- 二、平成七年度十二月末購買事業の進捗状況について
- 三、平成七年度十二月末長期共済事業の進捗状況について
- 四、定例自治監査指摘事項に対する改善方策について
- 五、職員組合からの要求事項に対する回答について
- 六、事務所の暖房用配管及びボイレ配管の補修について
- 七、Aコープ中標津店建設予定地

#### の集積について

#### 〈報告事項〉

- 一、平成七年度十二月末組助状況の報告について
- 二、第三期生乳安定生産対策について
- 三、酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針について
- 四、生乳生産状況について
- 五、特定石油製品輸入暫定措置法について
- 六、人事異動について
- 七、平成七年度十二月末人工授精実施状況について
- 八、営農指導の推進方向について

# 肉牛の産地形成 ブランド化を

中標津町農協  
肉牛振興会定期総会



建設的な意見が交された定期総会

第十三回中標津町農協肉牛振興会(鷺見孝会長、会員三十五人)の定期総会が一月二十七日、中標津保養所温泉で開かれました。

総会では、乳雄部会、和牛部会、畑肉部会での平成七年度事業報告、収支決算、平成八年度事業計画、予算(案)が審議され、全議案原案通り承認されました。

平成八年度の取り組みの中では○府県肉牛先進地視察○補助事業の積極的活用による和牛の産地形

成の推進○良質素牛生産のため観血去勢の講習会や懇談会の開催などが計画されています。

また、和牛の振興に向けた共進会や勉強会、展示会などの開催も検討する事となりました。

最後に肉牛生産のより一層の低コスト化と、品質向上に努めると共に生産体制の整備を図り、なかしべつ和牛及びF1のブランド化を目指す事を出席者全員確認し、総会を閉会しました。



# 暮らしの

## 知恵袋



受けていますか?  
健康診断

北根室地区農業改良普及センター

自分では健康だと思っても何となく疲れやすい、体調がすぐれないと感じる人は多いものです。人間の体は三十歳を過ぎると衰え始めます。手足のしびれやめまい、息切れ、腹はりなどは農業者にはあたり前のことと思われがちですが、これが「成人病」の始まりだということが、農村医学会で証明されています。

ふだん健康だと思っている人こそ、健康診断を受け、異常や病気の早期発見に努めましょう。

**検査の種類と目的**

**血圧検査**

もっとも基本的な検査で、高血

血圧の判定区分 WHO

区分	最大血圧			
	~139mmHg	140~159	160~179	180~
最小血圧	~89mmHg	正常血圧 (要観察)		
	90~94	境界域高血圧		
	95~99	高血圧 A (要注意)		
	100~	高血圧 B (要医療)		

圧を調べます。心臓が収縮した時の最大血圧と、心臓が広がった時の最小血圧を測り、基準より高すぎると高血圧と判定されます。

**尿検査**

尿のなかの、タンパク、糖、潜血などを調べ、陽性の場合には次のような病気が心配されます。

- タンパク：急性、慢性腎炎
- 糖：糖尿病
- 潜血：腎臓、膀胱、尿道などの炎症

**便検査**

便の潜血を調べ、胃・十二指腸カイヨウ、胃や腸の悪性腫瘍のような早期発見が可能です。

**心電図検査**

心臓の筋肉が働くたびに生じる微量の電流を測り、心臓の働きを調べ、心筋の障害、肥大の有無、不整脈などの心疾患が発見できます。

**眼底検査**

眼底とは、眼球のいちばん奥の網膜の部分で、外から直接に血管の状態を調べることができます。

高血圧、動脈硬化、糖尿病、腎臓病など、血管に変化の生じる病気の発見ができます。

### 血液検査

血液は体のあらゆる臓器、組織に、酸素や栄養分を運び、老廃物を運び出す働きをしています。血液を調べることは、健康状態を知る大きな手がかりとなります。

血液検査には主に貧血や炎症を調べる一般検査（赤血球・血色素・白血球・ヘマトクリット）と、生化学検査の二種類があります。

健康の目的は病気の早期発見だけでなく、自分の体の機能が年々どのように変化しているかを知り、健康を維持するためでもあります。自分の健康は自分で守る。ため原則として、年に一回は必ず受けるようにして下さい。

### 〈基本健康診査〉

問診	身体計測	血圧測定
胸部X線検査	理学的検査 (聴打診)	尿検査
血液検査	心電図	眼底検査

### 〈がん検診〉

胃がん 40歳以上から	肺がん 40歳以上から	大腸がん 40歳以上から
子宮がん 30歳以上から	乳がん 30歳以上から	



会員が協力して今年も朝市を中心にがんばる事を確認しました

## 体の続くかぎり朝市活動を 野菜生産組合総会

中標津町野菜生産組合の第11回定期総会が、1月12日大和殿を会場に開催されました。開会にあたり、広瀬茂子組合長が「昨年行なわれた10周年記念のお礼を述べると共に、今年も無理をせず体の続くかぎり朝市活動を続けていきたい」と挨拶。議長には、中司君子氏が選出され、平成7年度活動報告、8年度計画が審議され原案通り承認されました。

平成8年度は、新会員の募集と準組合員制度の制定、直売所建設の検討、山菜栽培試験の実施が新たに計画されています。また、任期満了による役員の改選が行なわれ新役員が次の通り決定されました。

組合長・房川秀子氏、副組合長・金子すみ子氏、会計・苫米地静子氏  
 監事・佐々木ミヤ氏

# フ オ ト ア ル ズ



生産安定に向けた取り組みが協議されました

## 第19回 てん菜 生産振興会 定期総会

平成8年度、会長には  
松田征二氏



てん菜生産振興会第19回定期総会が、1月24日農協大会議室において開催されました。松田会長の挨拶の後、渡部生産部長、鳥本ホクレン原料所々長、金光普及センター主査の祝辞をいただき、議長に協和の長郷義博氏を選出し、提出議案の審議が行なわれ全件原案通り承認されました。引き続き行なわれた役員改選では、各集団から選考委員会を選出し、慎重な討議の結果、満場一致で次の役員が選出されました。

会長・松田征二、副会長・長洲重樹、監事・真嶋正義、石橋喜美夫  
 地区役員・連田尚弘、佐々木昭雄、志賀詔一、土井上晴夫



公害対策などが協議された19回の総会

## 第19回 馬鈴しょ振興 対策協議会 定期総会

公害対策、原種、  
種馬鈴しょ対策など協議

馬鈴しょ振興対策協議会（会長・正城純一）の第19回定期総会が、1月26日に本人出席23人にて農協大会議室において開催されました。

正城会長の挨拶の後、三友組合長、普及センター金光主査の祝辞をいただき、議長に第2集団の福嶋剛氏を選出し、提出議案の審議が行なわれ、馬鈴しょ栽培講習会の開催など、事業計画、収支予算計画の全件原案通り承認されました。また、今後予想されるでん粉工場の公害対策並びに工場修繕に係る問題、原種種馬鈴しょ対策についても協議し終了致しました。



## 調子を合わせ ペッタンコ

協和へき地保育所  
もちつき大会



べったん、べったん、もちつきは楽しいです



上手におもちを丸めます

協和へき地保育所（連田弘園長、園児30人）の新春もちつき大会が、1月18日同保育所で開催され、園児をはじめ父兄約50人が参加し行なわれました。

もちつきは、大きな臼に用意されたもちを園児3人ずつがそれぞれ特製の杵で、かけ声をかけながらべったん、べったんとつき上げ、出来たおもちは、おしるこやきな粉もち、あんこもち、雑煮などに作られ、お田さんやお父さんたちと楽しく、おいしくいただきました。

## 1月の 組合日誌

- 8日 青色申告年末調整
- 13日 乳牛改良同志会役員会
- 16日 農協婦人部支部長会議  
" 農協青年部役員会
- 17日 第6回管理購買委員会
- 18日 農協酪対支部長会議
- 19日 特別委員会
- 20日 地区酪対役員会
- 23日 婦人部新年会
- 23日～26日 定例自治監査
- 24日 てん菜生産振興会総会
- 26日 馬鈴しょ振興対策協議会総会
- 29日 第6回営農委員会
- 30日 第10回理事会  
" 熟年会役員会
- 31日 農協酪対役員会

## 人事異動

※( )は異動前部署

- 〈平成8年2月1日付〉
- 畜産販売課肉牛消流係  
大鷹憲明(家畜改良係)  
退職者
- 〈平成8年1月31日付〉
- 加藤一二(肉牛消流係長)

# 完全休日の徹底を指導

## 実習生受入協議会総会

中標津町農協酪農実習生受入協議会(佐藤載康会長・会員75人)の第13回通常総会が1月18日、農協大会議室で開催されました。

平成7年度の事業報告では、アルバイトニュース誌中心による実習生募集で、49人の長、短期の実習生が受け入れられた他、2回の交流会を実施し、実習生同志の交流と農業に対する理解を深めました。

平成8年度の活動計画では、広報紙による実習生の募集、年3回の交流会、後継者対策、新規就農者支援など積極的な活動を行なっていく事となりました。

また、実習生の毎月2回完全休日の徹底に向け、各受入れ農家に指導協力をして行く事が確認されました。



後継者対策、新規就農者支援などの活動が協議されました



冬を  
思いっきり  
楽しもう

賞金総額50万円

開陽台  
自作ソリ大会

開陽台自作ソリ大会が2月18日(日)、開陽台育成牧場内特設コースで開催されます。

大会は、小・中学生学生部と高校生・一般の部に分かれ、タイムアタックやデザイン、アイデアの部門で表彰、賞金総額50万円が贈られます。

この他、チューブすべりや馬ソリ、雪上車、スノーモビル試乗会の催しも行なわれるなど楽しい企画でいっぱいです。

自作ソリ参加申込み、詳細については、開陽館(小木)TEL4-2360までお問い合わせください。